

委員会報告 見る・聞く・動く

～文教民生常任委員会視察～

子どもの魂を守るために、母が背中に縫った「背守り」の心

10月21日、一般社団法人 ソーシャルブレンダーが運営している、本庄市のまちの背守り保育所「じいじとばあばの宝物」を視察しました。

従前は木が生い茂った空き家でしたが、地域の高齢者の協力を得て空家の補修や庭木の伐採などをして開所にこぎつけました。また、開所後も地域の高齢者が子どもたちと触れ合い無事な成長を願うさまざまな取り組みを行っており、多くのメディアに取り上げられ脚光を浴びています。

「物を大切にする」、「教えるよりも子どもの力を引き出す」を運営方針に掲げ、子どもたちが生き生きと遊ぶ姿を見て、参考になることがたくさんありました。「じいじとばあばの宝物」のフェイスブック、ブログもご覧ください。



本庄市でおこなわれている学童保育

～総務産業常任委員会視察～

水害に強い「まちづくり」のために

11月18日、水害対策に関する調査として春日部市にある首都圏外郭放水路及び町内の八間堀悪水路を視察しました。

八間堀悪水路は、春日部市と松伏町を流れる農業排水路として整備されました。現在は都市化に伴い田んぼの面積が減少し、町全体の保水機能（面積）が低下しました。八間堀は市街化地区の雨水、ゲリラ豪雨対策としても大規模改修が望ましいものです。



排水機能が低下している八間堀悪水路弥生橋下

～議会活性化特別委員会～

町民本位の議会へ改革めざす

当委員会の基本方針は、

- ①適切な行政の監視
- ②議会活性化の評価
- ③町民本位の政策立案・提言
- ④町民に開かれた議会
- ⑤公平・公正な議会運営
- ⑥議員力・議会力の強化

など、継続的な議会改革が目的です。

今後は、政策立案や子ども議会の開催、議会基本条例、議員報酬の見直しなどの検討をすすめていきます。議会の活性化に向けて基本方針のとおり成果を残していきたいです。



練馬区でおこなわれている中学生議会

首都圏外郭放水路は、中川、倉松川、大落古利根川など中小河川の洪水を地下に取り込み、地底50mを貫く総延長6.3kmのトンネルを通して江戸川に流す、世界最大級の地下放水路です。

日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集し、平成5年3月に工事に着手。およそ13年の歳月をかけて平成18年6月、大落古利根川から江戸川までの通水が可能になりました。

彩流の川「首都圏外郭放水路」 地底50mを流れる世界最大級の地下放水路

